



～令和3年4月から

高島市共同募金委員会

高島市社会福祉協議会

「助成金」が変わります～

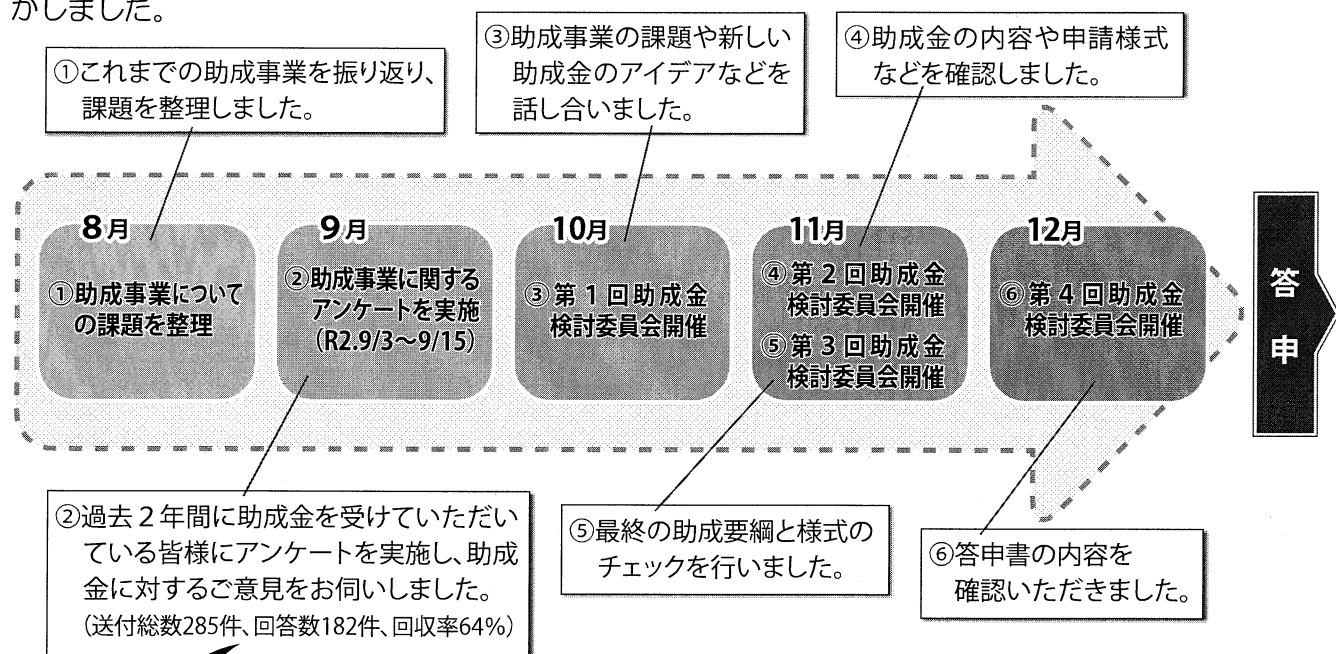


なぜ変わるようになったのですか。

近年の少子高齢化や人口減少、価値観の多様化等による社会的孤立、単身世帯化、関係性の希薄化などの地域生活課題に対し、今までの助成事業の設計では対応が困難になってきました。また、助成事業の財源となる社協会費、共同募金の今後の動向を考えて、このたび、助成事業の内容を見直すこととしました。

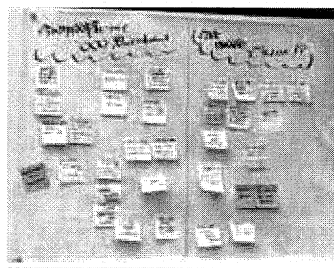
新しい助成金はどのようにして決められたのですか。

地域の住民や活動の支援者の声を幅広く反映させるために、住民を中心として構成した助成金検討委員会を設置し、10月から12月まで4回にわたり協議を行いました。また、活動者へのアンケート、高島市共同募金委員会や見守りネットワーク推進会議の委員からも意見をもらい、新しい助成事業の企画に生かしました。



委員会やアンケート等ではどのような意見がありましたか。

- ・助成金を一本化し、申請書等も簡素化し集約して申請できるようにしてほしい。
- ・福祉推進委員会活動とサロン活動の区別がよくわからない。
- ・細かく小さな団体にも助成できるように。
- ・当事者団体の支援や応援ができる助成に。
- ・社会的な問題(例えば貧困、子どもの課題)の解決に活かせるような助成。
- ・助成金に頼らない活動を考えていく必要がある。
- ・助成金の財源が一般的に知られていないため、きちんと周知していくことが大事。(一部抜粋)



▲助成金検討委員会の様子

新しい助成事業のしくみについて教えてください。

これまで、「団体」に対し助成(福祉推進委員会助成金、福祉教育推進校助成金、ボランティア団体活動助成金、福祉関係団体助成金など)していたのを、活動される団体等が実施する「活動」の内容で、下記のとおり4つの助成にまとめました。

ふくしのまちづくり助成金
(財源:社協会費、見守り募金、歳末たすけあい募金)

対象:福祉推進委員会(複数の自治会が共同で設置している場合および福祉推進委員会と同等の活動をしている区・自治会含む)

助成金額:区・自治会の前年度の社協会員戸数で区分した基本助成金(5,000円～100,000円)に、活動内容に応じた加算があります。

ポイント:見守りネットワーク活動の助成要件に「見守り会議」の実施を明記

地域のきずな助成金
(財源:赤い羽根共同募金)

対象:高島市内の地域や社会の課題解決にむけて活動を実施している非営利団体(3人以上の団体で、市内在住・在学・在勤者が半数以上等の条件があります)

助成金額:基本助成 10,000円に、
成員助成 500円×人数 を加算

ポイント:小さな団体も応援できる助成

年末年始地域たすけあい活動助成金
(財源:歳末たすけあい募金)

対象:高島市内の地域や社会の課題解決にむけて活動を実施している非営利団体(3人以上の団体で、市内在住・在学・在勤者が半数以上等の条件があります)

助成金額:1団体あたり20,000円

ポイント:12月から翌年2月に実施する活動

たかしま未来助成金
(財源:赤い羽根共同募金)

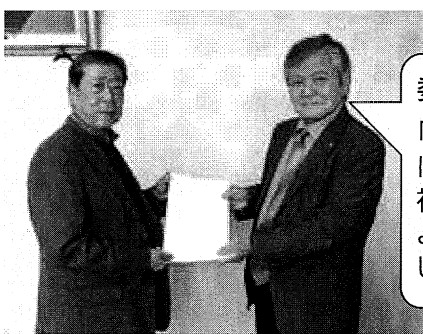
対象:高島市内の地域や社会の課題解決にむけて活動を実施している非営利団体(3人以上の団体で、市内在住・在学・在勤者が半数以上等の条件があります)

助成金額:初年度100,000円、2年目70,000円、3年目50,000円

ポイント:高島市の未来を切り拓いていく活動の応援助成

答申書を受け取りました!

12月10日に、助成金検討委員会で承認された答申書が、林典男委員長から高島市社会福祉協議会 古川進 会長へ手渡されました。



委員長から一言
「助成金を十分に生かした地域福祉の推進を、よろしくお願いします。」

新しい助成事業の説明会について

福祉推進委員会が対象の「ふくしのまちづくり助成金」の説明は、令和3年2月に実施予定の、第3回福祉推進委員会研修で実施します。また、そのほかの助成金の説明会についても、令和3年2月中に実施する予定です。詳しいことはホームページや社協のFacebook等でお知らせいたします。

助成金についてのお問い合わせは、地域福祉課(25-5730)まで!

